

梅雨の大雨で森の池で2年ぶり

# 「まぼろしの池」出現

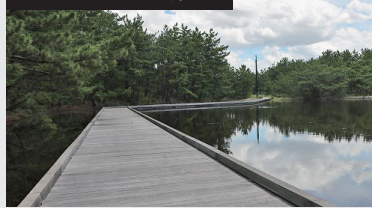


令和5年7月11日撮影

### 普段の景色

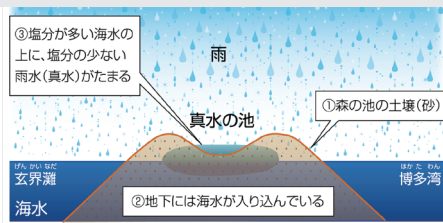


### まぼろしの池出現時



国営海の中道海浜公園内の森の池エリアでは、七月十日まで降り続いた大雨により、通称「まぼろしの池」が二年ぶりに姿を現した。森の池エリアは、普段は草地や松林で、池はどこにも見当たらない。しかし、このエリアの土壌は砂地で、地下の深いところには、水よりも重い海水が入りこんでいる。そのため、地中にしみ込んだ雨水は海水でせき止められ、海水の上にとまってしまう。今回のような大雨が降ると、地中の水分量がいっぱいになり、しみ込むことができなくなった雨水が地上部にたまり、池として姿を現す。これが、

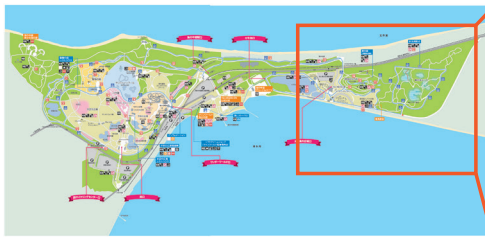
- ① 森の池の土壌は、海水面より深い位置(地下10m以上)まで砂でできています。
- ② 砂は水を通すので、地下には海から海水が入り込んでいます。
- ③ 海水は塩分など色々なものが溶けこんでいるため、雨水より重いです。森の池で沢山の雨が降ると、地下の海水の上に軽い雨水が乗り、真水でできた幻の池が出現します。



出典:「天候立の適正な管理を持続可能とするための取り組みの検討報告」より加筆

まぼろしの池ができる仕組みで、「森の池」の名前の由来ともなっている。このまぼろしの池は、雨が降らなければ、1日に約3センチずつ水位が下がっていき、やがて、池は消え、もとの草地や松林に戻っていく。降水量が少なく、池が現れない年もあることから、今回を見逃すと、次にいつ見られるかはわからない。この「まぼろし」に出会えるチャンスを逃すまいと、カモなどの水鳥や、水生昆虫が、どこからともなくやってきて、本格的な夏の訪れを前に、気持ちよさそうに池を泳ぐ様子が見られた。

## 見られる場所はココ



- 最寄りゲート：光と風の広場口
- 森の池エリアへは自転車でもアクセス可 ※ただし、サイクリングコースのみ

## 注意!

園路が一部水没しており、通行止めとしております。危険ですので、中には入らないでください。



海の中道海浜公園に関する取材申し込み・お問い合わせ

海の中道管理センター 広報係：大塚・山本 TEL:092-603-1300 FAX:092-603-1199